

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)						区分・【新主題】 / (分野)		授業形式		
E140A012		情報教育とデジタル環境 (Information education and the digital environment)								対面		
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態			
選択必修		2	2・3・4	教育学部	前期		日本語	英語	複数(共同)			
担当教員	氏名 市原、中原、杉山											
	E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp 内線 7590											
授業の概要	本講義では、学校全体における情報教育及び、GIGAスクール環境（タブレット端末、デジタル教科書等）に関する指導・支援について概観し、デジタル学習環境を踏まえた試行的な授業づくりを通して「学びを深めるICT活用」を考察する。											
具体的な到達目標 DP等の対応(別表参照)												
目標1	教育現場における情報教育について基礎的な知識・技能を習得する											
目標2	教材制作実習を通して実践的指導力を身につける											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
各DPへの関連度(計10)												
5 5												
授業の内容												
1	オリエンテーション(担当:中原)											
2	学校教育における情報教育の考え方(担当:中原)											
3	ICT機器の特徴と効果的な使用方法(担当:中原)											
4	ICTを活用した授業実践の事例検討(担当:中原)											
5	教科・単元に応じたICT活用(担当:中原)											
6	ICT教材に必要な要件の検討、活動システムモデルとICT活用形態(担当:中原)											
7	校務処理システム：成績処理(担当:杉山)											
8	校務処理システム：授業支援(担当:杉山)											
9	GIGAスクール環境の概要：構想(担当:杉山)											
10	GIGAスクール環境の活用：作成(担当:杉山)											
11	プレゼンテーションソフトを用いた教材開発実習(担当:市原)											
12	開発した教材を用いたマイクロティーチング(担当:市原)											
13	教材の相互評価と改善(担当:市原)											
14	SNSと情報モラル教育(担当:市原)											
15	学校におけるセキュリティとアダプティブラーニング(担当:中原)											
ラ ア イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認 <input type="radio"/> 実技、ディスカッション、評価 B:意見の表現・交換 <input type="radio"/> C:応用志向 <input type="radio"/> D:知識の活用・創造 <input type="radio"/>	工そ 夫の 他の の										
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		事前配布資料を熟読する【30H】									
	事後学修		課題レポートを作成する【30H】									
	想定時間合計											
教科書	随時プリント資料を配付する											
参考書	なし											

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合 20% 40% 40%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	学習への取り組み状況		○	○								
	製作物		○	○								
	定期考査		○	○								

注意事項	受講制限：20名
備考	
リンク	<input type="text"/> URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	中原・市原（中学校教員），杉山（高校教員）